

Pallet (ぱれっと) (広島大学)

◎チーム紹介

「Pallet (ぱれっと)」は、広島大学教育学部の2名からなるチームです。
 活動内容は、フルートとピアノのデュオによる訪問演奏、音楽遊び・リズム遊びを行います。
 ピアノがなければ、簡易式のエレクトーンを持参します。
 皆さん、放課後子ども教室で音楽を楽しみませんか。

◎活動の様子

活動教室：海田放課後子ども教室（海田町）

日 時：平成24年7月25日（水）15：30～17：00

場 所：海田町福祉センター

参加人数：3名（大学生ボランティア）、27名（子ども）



季節が夏ということで、「海」の歌をみんなで歌いました。次は、「海」の歌に合わせて、リズム遊びです。2人組みで向かい合い、歌を歌いながらお互いの手のひらを合わせて「タン、タン、タン」「タン、ウン、タン」とリズム打ち。子どもたちは「むずかしいなあ」と言っていたのですが、練習をして、最後にはリズム打ちができました。



次は、簡単な楽器作りです。「カズー」という楽器を画用紙とビニル袋を使って作りました。子どもたちは画用紙に絵を描きながら楽しそうに作っていました。途中、難しいところは、高学年の子どもが低学年の子どもに教えたり、一緒に作ったりしている微笑ましい場面もありました。完成した「カズー」を口に当てて歌ってみると、声が変わって聞こえました。子どもたちはびっくり。最後に、「カズー」を使って、「海」の歌をみんなで歌いました。

○大学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 子どもたちと楽しく活動することができました。
- ・ 今回新しく音を使ったレクリエーションなどを考えたので、今回の反省を生かしながら今後も音を使っていくことができると思います。
- ・ 子どもたちと活動するのは楽しく、たくさんの経験を子どもたちにさせてあげたいので、これからも放課後子ども教室で活動していきたいと思います。

○市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 「音」に焦点を当て、レクリエーションを行い、楽器作りへと展開する流れがスムーズでした。子どもたちも集中して楽しく学習することができました。
- ・ レクリエーションは、ピアノの音が入ったりして、飽きることなく楽しんでいる様子でした。
- ・ 大学生の活動の様子は、とても前向きに一生懸命活動しており、活動の機会を提供することで、小学生及び大学生の青少年育成にもつながると思います。

Pallet (ぱれっと) (広島大学)

平成
23年度

◎チーム紹介

「Pallet (ぱれっと)」は、広島大学教育学部の2名からなるチームです。

活動内容は、フルートとピアノのデュオによる訪問演奏、音楽遊び・リズム遊びを行います。ピアノがなければ、簡易式のエレクトーンを持参します。

皆さん、放課後子ども教室で音楽を楽しみませんか。

◎活動の様子

活動教室：大竹市小方子ども教室よつばクラブ

日時：平成23年8月11日(木) 13:00~15:00

場所：大竹市総合市民会館

参加人数：2名(大学生ボランティア)、7名(子ども)



初めに、子どもたちは、大学生の演奏を静かに聴きました。曲名を聞いただけではわからなかったけど、演奏を聴くとテレビなどでよく聞く音楽で、みんなうっとりとして聞いていました。

演奏が終わると、拍手大喝采でした。



子どもたちは、自分たちでストロー笛を作成し、それぞれで練習し、みんなで演奏してみました。

また、輪になって手をたたき、音を連ねていく遊びや、宝探しも音を頼りに挑戦するなど、終始音を意識した遊びでした。

○学生の皆さんからの声(インタビュー、アンケートより)

子どもたちに、音楽を好きになってもらいたいために、この活動を始めました。今日は、「ワクワク学び隊」として初めての活動なので緊張したけど、子どもたちが一生懸命やってくれたので感動しました。

帰り際、子どもたちに、「先生また来てね!」って言われた時、「小学校の教員に絶対になりたい!」という自分の夢を実現したいと思いました。

○市町スタッフの皆さんからの声(インタビュー、アンケートより)

今日は、子どもたちの目の輝きが違い、とても楽しんでいました。

今後は、子どもたちが大学生に「外で遊ぼうよ!」とお願いしていたように、「外遊び」について市の教育委員会と相談し、次の企画をしていきたいと思います。